

311 studies vol. 05

2017

311スタディーズ テーマ: あいまいな喪失

グリーフケアと あいまいな喪失を知る

災害によって大切な人が行方不明になる、住んでいた土地や家に戻れなくなる……喪失そのもの、そして喪失に至った原因があいまいな場合や、その喪失の悲しみにいえなさがある場合、「悲嘆が凍結し、複雑化する」といわれています。深い喪失に向けたケア、グリーフ(悲嘆)ケアとはどんなものかを学びながら、回復する力にも目を向けていきましょう。

連続勉強会

311スタディーズ

311 studiesって?

東日本大震災、原発事故から6年が経ち、あらためて広域避難の現場から振り返ります。東日本の汚染はどうなっているの? 補償や支援は? 大規模な自然災害や原子力災害は、私たちにどのように影響し、何が問題であるのか一緒に学びながら学びませんか? この経験は、明日の私のことなのかもしれないから。

2017年、さまざまな有識者による「知る」機会をシリーズで設けます。ぜひお気軽にご参加ください。

2017. **12.16(土)** 10:00~12:00
(受付9:30)

場 所 : **きらめきプラザ 707会議室**

講 師 : **坂口 幸弘氏**

(関西学院大学人間福祉学部教授・関西学院大学災害復興研究所研究員)

- 大阪大学人間科学部卒業後、同大学院人間科学研究科博士課程修了、博士(人間科学)。
- 現在、関西学院大学人間福祉学部人間科学科教授。専門は死生学、悲嘆学。死別後の悲嘆とグリーフケアをテーマに、主に心理学的な観点から研究・教育に携わる一方で、ホスピスや葬儀社、行政などと連携してグリーフケアの実践活動も行ってきた。著書に「悲嘆学入門―死別の悲しみを学ぶ」(昭和堂、2010年、単著)、「グリーフケア―見送る人の悲しみを癒す〜「ひだまりの会」の軌跡〜」(毎日新聞社、2011年、共著)、「死別の悲しみに向き合うーグリーフケアとはなにか」(講談社現代新書、2012年、単著)などがある。

参加費 : 一般500円、避難・移住者は無料

定 員 : 30名 (要予約)

主 催 : 一般社団法人 ほっと岡山

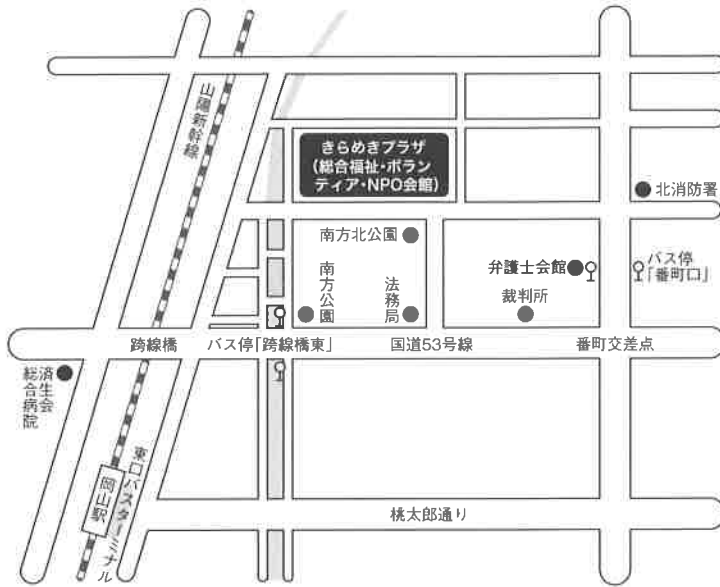
〒700-0921 岡山市北区東古松4-14-24 コーポ錦1階 TEL : 0120-566-311

FAX : 086-230-4561 E-mail : hotokayama@gmail.com

託児あり

会場案内

きらめきプラザ(岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館)



岡山駅から

○徒歩約15分

○路線バス：

宇野バス・岡電バスで「番町口」下車徒歩3分
中鉄バスで「跨線橋東」下車徒歩4分

※来館者用駐車場には限りがありますので公共交通機関をご利用ください。

申し込み用紙

一般社団法人ほっと岡山

311studies vol.05 グリーフケアとあいまいな喪失を知る

FAX 086-230-4561

お名前	避難・移住者の方ですか？ はい ・ いいえ
連絡先 E-mail TEL	今後、ほっと岡山からのお知らせを希望される方は、いただいたメールアドレスへお知らせします。 希望する ・ しない
託児 希望する ・ しない	託児についての連絡事項 (アレルギー等)
お子さんのお名前 (託児希望の場合)	年齢
男 ・ 女	才
男 ・ 女	才

※ご記入いただきました個人情報は適切に管理し、本事業のみに使用いたします。